様式2

○○○○○○○○○調査専門委員会（研究専門委員会，協同研究委員会ならびに特別委員会もこれに準ずる）

解散報告書

○○○○技術委員会

１．解散の趣旨および活動報告

　　　本委員会（委員長　○○　○○）は，・・・。

２．成果報告の形態

　　　成果報告の形態として，次の①～⑥のいずれかを選択できる。

　　　①技術報告，②技術報告単行本，③学会誌・部門誌への投稿，④研究会での発表，⑤全国大会・部門大会シンポジウムでの発表，⑥電気規格調査会テクニカルレポート（JEC-TR）

　　　ただし，②，③，④，⑤，⑥の報告方法では，別途関係委員会の承認を得る必要がある。

(技術報告単行本を報告形態とする場合は、「技術報告書の様式のままの単行本化」では適切でないため、一般書店で販売できる図書とするため目次・内容・体裁を整える必要がある。)

３．成果報告について

　　　成果報告の形態によって，次の（ａ）～（ｄ）の書式により解散報告書を記載する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （ａ）①技術報告②技術報告単行本の発行 | （ｂ）③学会誌・部門誌への投稿 | （ｃ）④研究会での発表⑤全国大会・部門大会シンポジウムでの発表 | （ｄ）⑥JEC-TRの発行 |
| 【①技術報告の場合】 (１)題目：○○○○○○○(２)目次：各章立て　　　　　第○章○○○　　　　　　(３)出版形式：オンデマンド出版（但し，500部以上の販売部数が確定している場合は，従来の冊子形式の出版も可能です。この場合、「従来型冊子形式」と記載下さい）(４)刷上り予定ページ数：　　　　　○○ページ(５)販売予想部数：○○部(６)技術報告，技術報告単行本を　 使用した講習会等の開催の予定　 ・開催予定時期　 ・開催予定地区　 ・参加見込み者数(７)成果報告原稿の提出時期：　　西暦年（和暦年）○月【②技術報告単行本の場合】（技術報告単行本として出版する場合は、「部門共通・規程1-2-2技術報告単行本出版の申し合わせ」に定める手続きを経ること。解散報告書に記載しただけでは発行が承認されたことにはならず、注意が必要。）(１)題名：○○○○○○○(２)目次：各章立て　第○章○○○　・　・　・(３)出版形式：通常出版(４)刷上り予定ページ数：　　　　　　○○ページ(５)販売予想部数：○○部(６)技術報告単行本を使用した講習会等の開催を予定している場合　 ・開催予定時期　 ・開催予定地区　 ・参加見込み者数(７)成果報告原稿の提出時期：　　 西暦年（和暦年）○月※技術報告単行本として出版する場合は、技術委員会・部門研究調査運営委員会・部門役員会での承認、さらに出版事業委員会での審議が必要。 | (１)掲載予定の学会誌，部門 誌の別：　　学会誌・○部門誌(２)掲載予定特集テーマ：　 　「○○○○○」(３)掲載予定各題字　 ○○○○○○○ 　　　　　・　 　　　　・ 　　　　　・(４)掲載予定月号　西暦年（和暦年）○○月号 | (１)研究会，あるいは，各大会の名称： ○○○○研究会 ○年全国大会　 ○年部門大会(２)研究会，各大会シンポジウムのテーマ：　 　「○○○○○」(３)発表予定題目　ⅰ解散委員会委員長名による総論　ⅱ各発表題目(４)開催予定時期　　西暦年（和暦年）○月 | (１)提出先となる電気規格調査会・標準化委員会の名称：　△△標準化委員会(２)電気規格調査会での審議及び報告予定時期　△△標準化委員会審議　西暦年（和暦年）○月　○○部会審議　　　　　西暦年（和暦年）○月　規格役員会報告　　　　西暦年（和暦年）○月 |

４．今後の課題